

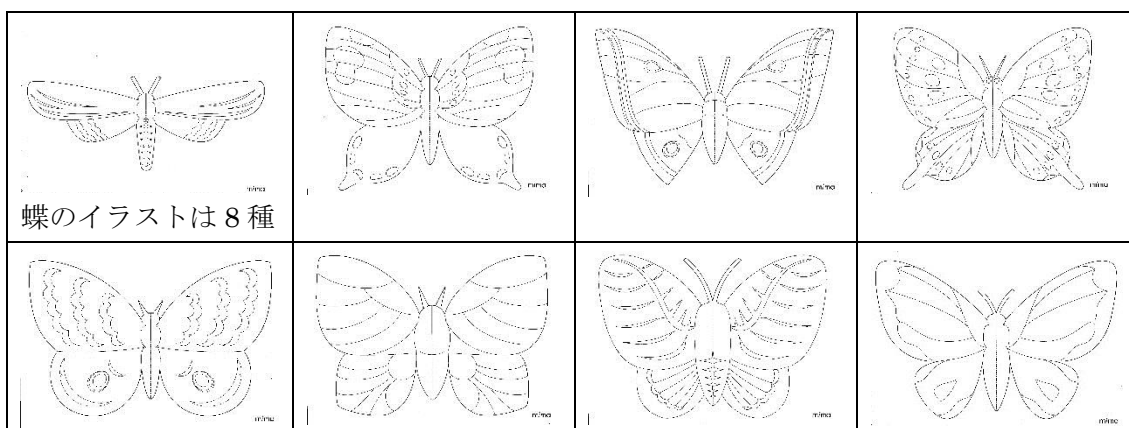
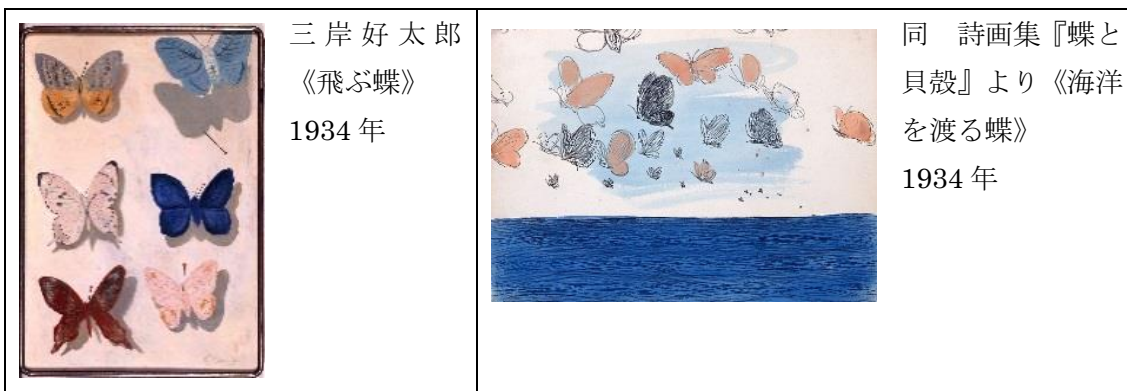
(7) 蝶の空間

A 主に小中学生

B 「こどものための三岸好太郎展」会期中（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 27 日）

C 492 名

D 三岸好太郎が最晩年の油彩画《飛ぶ蝶》や詩画集『蝶と貝殻』に表した多種多様な蝶と蛾をもとに、蝶の塗り絵用イラストと、それを吊り下げる仕組みを開発発した。来館者蝶や蛾をモチーフにした三岸好太郎作品を鑑賞してから、イラストに自由に色と文様を加えて、外光の採り入れが可能な展示室の一角に吊り下げていく。会期が進むとともに、蝶が増えていくことになった。無数の蝶の飛翔という、三岸好太郎が詩画集のうちの 1 枚《海洋を渡る蝶》に表したファンタジーの三次元空間における実現に、来館者が参加することで、作品理解を深めるための仕掛けとした。





蝶の工作コーナー



蝶に関連する作品展示と、蝶の空間コーナー



展覧会初日の様子



展覧会会期半ばの様子



展覧会最終日の様子



同左